

1. 商品の安全性追求

森永乳業は、生活者の皆さまに安全安心で健康に役立つ商品をお届けするために、商品の安全性と品質の確保に努めています。そのために、様々な機器分析のほか、微生物や細胞を用いたバイオアッセイなど *in vitro* の十分な動物実験代替法を駆使した後のヒト臨床試験まで、目的に応じた手法を用いています。

2. 動物実験に関する考え方

食品の商品開発においては、ヘルスクレームを実証するためだけの動物実験は行わない方針です。但し、公的機関等から要求・推奨される安全性・有効性・作用機序の確認や、倫理的にヒト臨床試験を実施するのが適当ではないと判断される場合、動物実験を行うことがあります。

医薬品や医薬品原料素材の研究開発においては、代替法が無い場合も動物実験を行うことがあります。

動物実験の実施にあたっては、「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」、ならびに「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準の解説」に則り、3Rの原則（Replacement（代替法の利用）、Reduction（動物使用数の削減）、Refinement（苦痛の軽減））を徹底し、動物の生命を尊重し、動物福祉の考えを念頭に置いた上で、必要最小限の動物で、苦痛軽減に最大限配慮した試験計画を立案し、社内に設置した動物実験委員会の審査を経て実施します。また、法律・指針等の遵守状況および実験動物の飼養や管理等について、自己点検を行います。

なお、上記取組みの客観性確保のため、公益財団法人 ヒューマンサイエンス振興財団による動物実験に関する第三者認証を取得しております。

2019年9月